

第14回文化祭

(姉妹都市)

岩沼市からも 63点の出品

岩沼市から出品されたコーナーも
設けられた



文化・芸術に親しみ、生活に潤いをもと、市民の日ごろの文化活動を発表する場として、今年で十四回目を迎えた「南国市文化祭」(市文化推進協議会主催、島村辰彦会長)が、十月十八日から二十五日までの八日間にわたって市民体育館と大森公民館で開かれ、大勢の市民が訪れました。

初日は、島村会長らのあいさつの後、司亭升楽さんが愉快な土佐落語で観客を沸かせました。

美術部門は、書道、絵画、写真、生け花、工芸など約三百点の力作が展示されました。その作品の中には、本市の姉妹都市の宮城県岩沼市の文化協会から寄せられた書

道、絵画、俳句、短歌、川柳の六十三点の作品を展示したコーナーも設けられ、訪れた人たちは熱心に鑑賞していました。

ちようと本市の文化祭と岩沼市の文化祭が同時期に開かれ、初めての試みとして、本市からは絵画、写真、短歌など約六十点の作品が岩沼市に送られ、お互いの作品が交換されました。今後もうこうした交流が続く、大きな広がりになることが期待されます。

また、十八日と二十五日に行われた芸能部門では、詩吟、コーラス、大正琴、民謡などに約百三十人が出演。日ごろの練習の成果に盛んな拍手が送られていました。

多彩な催しでにぎわう

商工まつり

◆ 商工会館落成記念 ◆

市内の名産品などを集めた「南国市商工まつり」が十一月一日、二日の両日、市商工会館駐車場で開催され大勢の買い物客でにぎわいました。

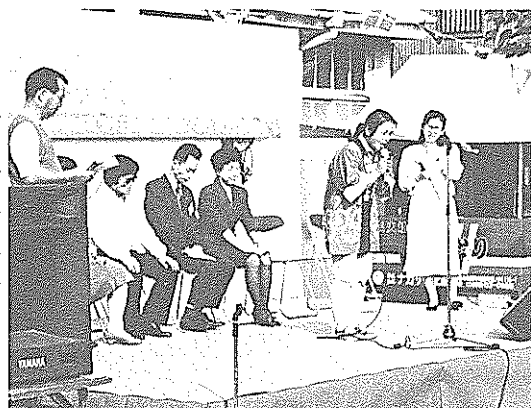
これは市商工会(主幹 雅男会長)の主催で毎年開かれていますが、今年は商工会館の落成記念として、会場を市民体育館から商工会館駐車場に移して開かれました。

初日の一日には吉村会長らがテープカット。そして南国郵便局員のグループの軽快な音楽の演奏でオープニング。

会場には、新鮮な野菜や果物、マグロやジャコなどの海産物、衣料品、竹細工、打ち刃物なども展示。土曜市組合はよもぎもちの実演販売。そのほか、NTT南国電報電話局や南国郵便局なども出店。市鍛造組合の無料包丁研ぎコーナーも好評で、また米消費拡大コー

ナーでは、工夫を凝らした米料理が並べられ主婦の興味を引いていました。

一方、舞台ではRKCラジオの公開録音やまはろば囃子、維新太鼓も披露され、またじゃんけん大会やきき酒大会、そして軽四輪自動車などの抽選会も行われるなど、まつりを盛り上げていました。



ラジオの公開録音も行われ、まつりを盛り上げた

高知県知事選挙 11月29日(日)投票

※不在者投票は、投票日前日(28日)の午後5時まで、4階(北側)選挙管理委員会事務局で。